

尾 交流深まるカフェ誕生

快報
場所

上 福祉市民の会 1日ユニバーサル・カフェ

上尾駅東口プラザ館3階市民活動支援センターで6月16日に「1日(one day)ユニバーサル・カフェ」が開かれました。

24人で活動しています。これまでもバリアフリーマップの作成や、認知症の勉強会なども開催してきました。

主催したのは上尾の街で「コミュニティカフェ」づくりを目指す「地域福祉計画をすすめる上尾市民の会」(梅山文雄代表)とユニバーサル・カフェ実現委員会。

今回、「誰もが気軽に立ち寄れて、普段の暮らしでは出会うことのなかった人や、今までと違う自分に出会う場所、ユニバーサル・カフェによるこそ」のちらしを配布したところ、初回にもかかわらず、100人を超える来場者でにぎわいました。カフェには、無料の茶やコーヒーが用意され、キッズコーナーや相談コーナー

同会は市報の公募により集まった約50人の上尾市地域福祉計画策定委員から新たに16人で結成され、現在は賛助会員含む



会話を楽しむ来場客ら

し、お役立ち情報の掲示や、やぎさん一座の紙芝居も上演されました。

「退職した主人が興味を持って来ているので来ました。楽しい雰囲気です」

という夫婦や、「子どもと紙芝居を見に来ました」と話す母親。「多世代、障がいの有無、目的のあるなしにかかわらず、自由に集える懐の深い場所づくりがしたかった」と

話すのはカフェのプロジエクトリーダーの陣ノ内文江さん。同会事務局長の若島敏夫さんは「何か役に立ちたいという方、手伝ってほしいという方など、お互いのニーズが集まって形になっていたら」と話しました。次回開催は7月22日午前10時から午後3時30分の予定。